

(2) 組織計画について

② 人材配置について

必要人員数については、現在想定している事業計画からは、全国的な事例の平均的な配置人数として 10～15 名程度が必要であると考えられます。

【公立文化施設において必要な職能(例)】

職 能		担う役割
統 括		経営統括責任者(館長)
総務系	総務系責任者	経営的責任者
	庶 務	庶務担当業務
	経 理	経理担当業務
	施設管理	施設の維持管理に関する業務
事業系	事業系責任者	事業実施における責任者
	営 業	チケットセールス及び貸館利用の促進を図る
	票 券	チケットの配券、予約、発券、代金管理
	広 報	施設広報及び事業の広報、定期刊行物等出版に関する業務
	情 報	情報関連事業の企画・推進
	企画制作	自主事業の企画制作から実施に至る業務(音楽系、舞台芸術系)
	普及育成	友の会運営、ボランティア組織などの運営業務
	施設提供	貸館の受付調整業務、ホール以外の室の管理業務
	受付・チケット販売	チケット販売、施設貸出し等の窓口業務
	レセプション	ホールで事業を行う際のチケットもぎりや案内業務
技術系	技術系責任者	舞台設備及び技術に関する責任者
	舞 台	舞台機構設備の管理運営、大道具備品の管理運営、技術に関する育成事業、自主事業の舞台運営責任者
	照 明	舞台照明設備の管理運営、舞台照明備品の管理運営、技術に関する育成事業、自主事業の舞台照明責任者
	音 響	舞台音響設備の管理運営、舞台音響備品の管理運営、技術に関する育成事業、自主事業の舞台音響責任者
	技術調整	ホール以外の施設での舞台技術的な課題を担う

\* 上記の他に、施設運営上、警備・清掃・施設メンテナンス等の業務も必要

このほか、ホール施設特有の業務である、催し物の開催時の案内係や託児サービスなど、一部の業務については、ボランティアの活用などを図ることも視野にいれて、今後更に検討を進めます。

必要人員については、現在想定している事業計画からは、全国的な事例の平均的な配置人数として **10～15 名程度**が必要であると考えられます。